

令和8年2月8日執行

衆議院小選挙区選出議員選挙公報(第1区)

さいたま市見沼区・浦和区)
緑区

埼玉県選挙管理委員会

たけまさ公一の歩み

1961年生まれ。うし年。B型。市立木崎小学校、木崎中学校、県立浦和高校、慶応義塾大学法学部政治学科、松下政経塾卒業。1995年埼玉県議当選。2000年衆議院議員当選。以後7期務め外務・財務副大臣・衆議院憲法審査会会長を歴任。浦和レッズ後援会理事、県合気道連盟会長、さいたま市ラグビー・フットボール協会会長、浦和新舞踊連盟会長。浦和区大東3丁目在住。妻一女一男。

比例区は中道改革連合
連合埼玉推薦

物価高騰対策と給与引き上げを

円安是正/財政規律/国内投資信託購入には税の優遇措置/NISA(少額投資非課税制度)拡充

中小企業が元気に、エネルギー政策も見直しを

取適法(価格転嫁、手形禁止)/融資緩和/法定福利費支援/原発再稼働条件容認/再エネ検証振興

教育の無償化をさらに進め、大学改革も着実に

公教育支援/返済不要な給付型奨学金/職業教育の充実/大学生の国民年金猶予制度改善

社会保障と税の一体改革第2弾で、税と保険料軽減

現役世代の社会保険料軽減/所得が1億円超には税額引き上げを/所得課税の見直し/住宅ローン減税

③ 国政調査権の強化で税金の使い道を明らかに

② 現役世代の資産形成支援、社会保険料軽減

① 食料品消費税はゼロ%に(財源を明示したうえで恒久的に)

規制改革と地方分権で経済の底上げを図ります

現実的な外交安保、メリハリのある多文化共生を

日米同盟深化/同志国連携/外国人受け入れは日本語能力を条件/不法就労厳格対応

災害対策を進め、都市農業の充実を図ります

猛暑・ゲリラ豪雨対策/樹木林支援/コメの安定供給/農業者戸別所得補償の復活

歩行者自転車自動車分離で公共交通の充実を

歩行者自転車自動車の分離/バス路線等の充実のため人員確保支援/自動運転実証推進

規制改革と地方分権で経済の底上げを図ります

電波オークション(入札)実施/電波ビジネス振興/人モノ金情報の有効活用は地産地消で

現実的な外交安保、メリハリのある多文化共生を

日米同盟深化/同志国連携/外国人受け入れは日本語能力を条件/不法就労厳格対応

災害対策を進め、都市農業の充実を図ります

猛暑・ゲリラ豪雨対策/樹木林支援/コメの安定供給/農業者戸別所得補償の復活

歩行者自転車自動車分離で公共交通の充実を

歩行者自転車自動車の分離/バス路線等の充実のため人員確保支援/自動運転実証推進

税金の使い方は有権者・納税者第二に

だれひとり取り残さない生活者ファースト



中道改革連合 公認
前衆議院憲法審査会長・元外務財務副大臣
たけまさ公一 こういち

村井ひできの政策

1. 「責任ある積極財政」で、物価高を乗り越え、強い経済を創る
2. 全ての方が安心できる「全世代型社会保障」の構築
3. 一人ひとりの子どもを伸ばす学習環境の整備

詳細は公式サイトをご覧ください
https://muraihideki.com/

4. 毅然とした外交・安全保障の推進
5. 国民の不安と不公平感に正面から応える外国人政策
6. 防災・減災対策の強化
7. 信頼回復に向けた更なる政治改革の断行
8. 憲法改正の推進

村井ひできの実績

「国会運営の責任者」として 臨んだ5期目
「熱議の国会」を実現

少数と党下、石破・高市政権と続けて「国会運営の責任者」を務め、与野党協議の最前線に立ちました。官邸と緊密に連携し、幅広い政党との信頼関係を基に合意形成を主導。官邸勤務3年間の政策立案経験を活かし、「熱議の国会」を実現しました。

物価高対策を推進

昨年の臨時国会で、減税と給付を組み合わせた総合的な負担軽減策を実現しました。

1. ガソリン暫定税率廃止
2. 電気・ガス代支援をスタート
3. 重点支援地方交付金拡充(さいたま市では水道料金引下げ予定)
4. 子ども一人2万円給付
高校授業料・小学校給食無償化
5. 年収の壁178万円への引上げ決定

「積年の課題」政治資金改革を実現

サラリーマン家庭出身の政治家として、世の中の「当たり前の感覚」を永田町に吹き込むべく、旧文通費の抜本見直しを主導しました。改革協議会座長として、全議員を代表して改革私案をまとめ、使途公開と残金返納を義務化。与野党を問わず、国会議員の間で改革に抵抗する様々な声が上がりましたが、「国民目線」を貫き、法改正を実現しました。

国民の暮らしと安心を守り抜く

「責任ある積極財政」のもと、日本の経済政策は大きく前に動き出しました。昨年の臨時国会では、ガソリン暫定税率廃止、「年収の壁」引き上げ、高校授業料・公立小学校給食費の無償化などを実現。私は「国会運営の責任者」として改革の先頭に立ちました。

今後は、食料品の消費税を0%に引き下げるなど、更なる物価高対策を講じます。その上で、年金の抜本改革、地域医療の強化、訪問医療・看護・介護の充実など、安心の社会保障を実現します。また、LRT敷設・コミュニティバス路線の充実など、公共交通の利便性向上をはかり、皆様の暮らしと安心を守り抜いて参ります。

プロフィール 昭和55年さいたま市生まれ。45歳。家族：妻、長男(11歳)、次男(8歳)、三男(6歳)。浦和市立別所小学校卒業。東京大学卒業後、財務省入省。ハーバード大学院修了。平成23年財務省退官。平成24年初当選、以降4選。令和3年内閣総理大臣補佐官。令和5年内閣官房副長官。令和6年議院運営委員会 筆頭理事 兼 自民党 国会対策委員会 筆頭副委員長。その他の役職：埼玉県野球協会会長、埼玉県サイクリング協会会長など。



村井ひでき
自民党 公認

I am JAPAN ひとりひとりが日本

“3つの柱と9の政策”

1 日本人を豊かにする ～経済・産業・移民～

1 “集めて配る”より、まず**減税**
減税と社会保険料の削減により、国民負担率を35%に抑え、積極財政による経済成長で国民の豊かさが持続的に高まる経済構造を実現します。

2 日本はまだ間に合う**“NO! 移民国家”**
労働力不足の解決を、安易な移民依存に委ねません。適正な人口計画を立て、外国人労働者の受入れと外国人の土地取得を制限します。

3 **現場の人**が支える日本
製造業、建設業、運送業、医療介護福祉や警察・消防・自衛官等、現場で汗をかく方々の待遇を改善し、安心して働ける社会をつくれます。

2 日本人を守り抜く ～食と健康・一次産業・エネルギー～

4 **食**は人の天なり
食を守ることは国家の安全保障そのものです。食の安全を向上させ、食料自給力を高め、国民が決して飢えることのない体制を整えます。

5 **エネルギーと資源確保が生命線**
諸外国も見直しを進めている脱炭素政策を再構築します。再エネ賦課金を廃止し、安く、安全で安定したエネルギーを国内で確保します。

6 **安心医療で健康国家**
過剰な医療や非効率な仕組みは見直しつつ、予防を重視した体制へ転換し、子どもから高齢者まで、すべての人の健康と安心を支えていきます。

3 日本人を育む ～教育・人づくり・国家観～

7 子ども一人につき**月10万円**
0～15歳の子ども一人につき月10万円の教育給付金を支給し、若者が子供を授かり育てたいと思える環境をつくれます。

8 **受験戦争からの解放**
偏差値重視の教育から脱却し、ひとりひとりの個性、強みが正當に評価される教育へと転換します。健全な人格を育む場にします。

9 **日本はみんなの家**
日本の国力が衰える中で、国際情勢も緊迫してきました。「ひとりひとりが日本」という意識改革を起こし、日本の豊かさと平和を守ります。

比例は 参政党

とお書きください。

参政党の政策は ▶
こちらの特設サイトから！



すがたしろ プロフィール 昭和63年8月5日生、栃木県出身。電通大卒。長年、電気保安技師として地域に不可欠な電力インフラの維持、発展に尽力。真の技術者目線の政治で、失われた30年で衰えた日本のインフラを復活させる。国民の宝であるインフラは、絶対に止めない、売らない、壊さない。



すがたしろ
参政党 公認

① 政治姿勢 1%の市民革命

政治家に任せきりにするのではなく、まずはたった1%でも、市民が勇気を持って声を上げれば社会は変わります。「完璧な人間」だけが政治に参加するのではなく、あなたの隣にいる普通の市民が主役になれる政治を実現します。

② 外交・安全保障 安保法制の廃止・立憲主義の回復

憲法を軽視した安全保障関連法制は直ちに廃止し、立憲主義を取り戻します。時の政権の解釈改憲を許さず、平和憲法の理念に基づいた、対話と協調による現実的な外交を推進します。

③ エネルギー 原発ゼロ・自然エネルギー立国へ

原発依存からの脱却を明確にし、「原発ゼロ」社会を目指します。地域の自然資源を活かした再生可能エネルギーへの転換を進め、安全性と経済合理性を両立させた持続可能なエネルギー社会を構築します。

④ 地域・スポーツ 100年先を見据えた「スポーツ文化都市」の創造

Jリーグ「100年構想」の理念に基づき、スポーツを単なる興行ではなく、地域コミュニティの核として位置づけます。多世代が交流し、心身の健康を育む「欧州型スポーツクラブ」のような文化をこの地域に根付かせます。

⑤ 公共事業 「解体までデザインされた」公共施設のあり方

建設ありきの公共事業を見直します。スタジアムや大型施設は、数十年先の老朽化・解体費用まで計算に入れた持続可能な計画(ライフサイクルコスト管理)を義務付け、次世代に「負の遺産」を残しません。

さいたま市135万人の一人ひとりと政治を学び直したい。

日本の人口1%



⑥ メディア・情報 大手メディアの偏りなき報道改革と「知る権利」

政治への無関心は、限られた情報の中で生み出されています。大手メディアの偏りなき報道を求めるとともに、インターネットを活用した一次情報の透明化を推進し、国民が正しく判断できる情報環境を整えます。

⑦ 現場主義 徹底した「現場主義」～声なき声を届ける～

政治家が考えるべきは「政局」ではなく「あなたの生活」です。旧浦和・さいたま市で培ったネットワークを活かし、永田町の論議ではなく、生活の現場で起きている困りごとを国政へ直接届けます。

⑧ 教育・参加 政治の「学び直し」と主権者教育の充実

「難しい言葉」で政治を遠ざけません。10代や若者が選挙に参加しやすい環境整備(受験期の選挙日程の見直し等含む)や、学校教育における主権者教育を強化し、誰もが政治を自分の事として考えられる社会を作ります。

⑨ 経済 さいたま発・「生活第一」の地域経済循環

物価高対策を最優先し、生活者の視点に立った経済対策を行います。大企業優先のアベノミクスから転換し、地域の中小企業や商店が潤い、地元でお金が回る「地域循環型経済」を確立します。

⑩ 多様性 同調圧力に屈しない、個が尊重される社会

「周りの目」や同調圧力によって、言いたいことが言えない社会を変えます。多様な生き方や価値観が尊重され、誰もが自分らしく生きられる、寛容で風通しの良い日本を目指します。

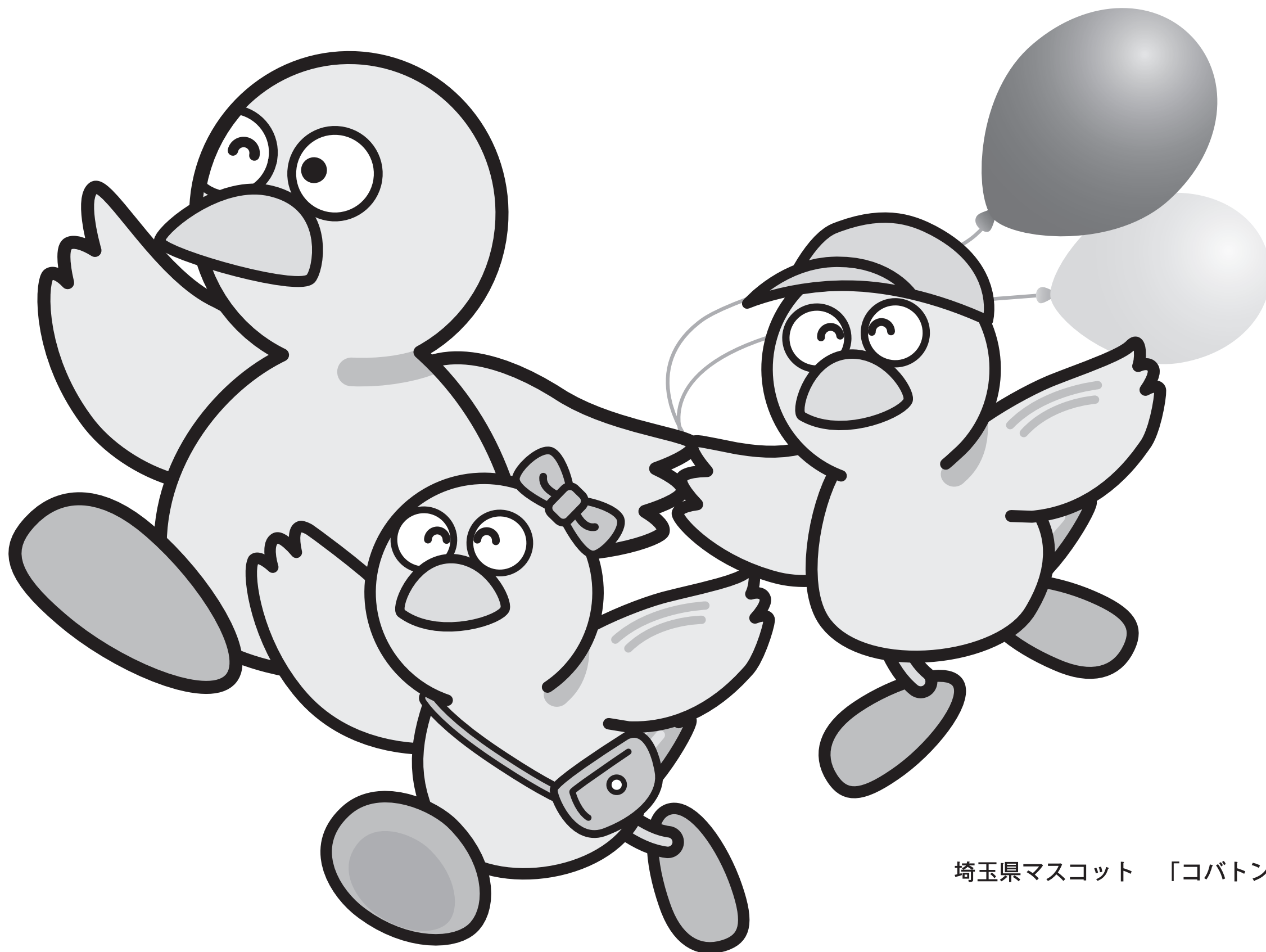


は無所属37歳
羽田 一樹
さいたま市特化メディア「GLOBAL SAITAMA CITY」編集長

投票日 2月8日(日)

投票時間 午前7時から午後8時まで ※投票所により異なる場合があります。

親子で投票にいこう



埼玉県マスコット 「コバトン」

投票所入場券が無くても、本人確認ができれば投票できます。

※マイナンバーカードや運転免許証等があると、手続きがスムーズです。

仕事や旅行など投票日に予定のある方は、期日前投票をご利用ください。

詳しくは、お住まいの市区町村選挙管理委員会へお問い合わせください。

期日前投票期間 1月28日(水)～2月7日(土)
午前8時30分～午後8時

※期日前投票所により期間・時間が異なる場合があります。

埼玉県選挙管理委員会の特設ページでは、期日前投票所や候補者情報など様々な情報を発信しています。

埼玉県選管

検索



埼玉県選挙管理委員会